

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

育苗管理は、天候の変化に応じて適切な温度管理とかん水を徹底し、健苗育成に努めましょう。田植えは、植付本数や植付深さ、田植え後の水管理を適切に実施し、初期分げつの発生を促しましょう。

1 育苗期後半の管理 ～温度管理に注意し、換気を徹底する～

かん水 午前中（早朝）に苗箱の底まで十分に浸透するように、ムラなくかけましょう。苗の生長や天候に応じて1日1～2回程度を目安としますが、かん水過多は根張りの不良やカビの発生につながるため、注意しましょう。

温度管理

日中：ハウス内の温度は20～25℃を目標に、しっかり換気をしましょう。晴天日だけでなく、曇りの日も早朝から換気をしてください。
夜間：搬出1週間後からは夜間も換気を行い、外気に慣らしましょう。ただし、夜間の気温が5℃以下になると予想される場合は、ハウスを閉め、保温に努めましょう。

2 代かき

- 代かきから田植えまでの日数が長いと、雑草の生育が進んでしまうため、十分な除草効果が得られない場合があります。代かきは田植えの3～4日前に計画的に行いましょう。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わらなどをしっかりすき込みましょう。また、代かき後の濁り水や基肥一発肥料などの被覆殻は用水へ流さないようにしましょう。

3 苗箱施薬

- 散布時期や量を守って使用しましょう。
- 水稻育苗後にハウス内で野菜を栽培する場合は、ハウスから苗を搬出してから苗箱施薬剤を施用しましょう。

散布前に必ず記載内容を確認しましょう！

区分	使用薬剤	散布量	散布時期
一般	リョーガフェルテラ粒剤	50g/箱	播種時（覆土前）～移植当日
紋枯病対策	ブーンレパード箱粒剤		播種時（覆土前）～移植当日

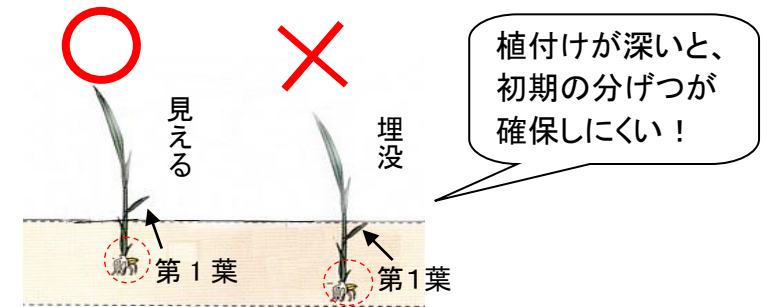


※密苗の場合は苗箱数に応じて、10a当たり1kgになるよう調整しましょう。

4 田植え

- 田植時期（コシヒカリ）
平場 5月15日を中心に
山手 5月5日頃から開始する
- 植付株数：70株植えを徹底する（穂数確保のため）
- 植付本数：3～4本/株
- 植付深さ：3cm程度

植付深さの目安



※第1葉は埋没させず、見えるように植えましょう。

- 基肥（コシヒカリ）：土壌条件に応じ、適正な基肥量を厳守する。

施肥体系	土壌条件	肥料名	施用量 (kg/10a)
一発	沖積砂壤土	Jコートコシヒカリ1号	30～35 (側条)
	洪積黒ボク	Jコートコシヒカリ2号	25～35 (側条)
分施	-	基肥206	30 (側条)

※適正な基肥量となるよう、施肥機の繰出し量を事前に調整しましょう。

5 田植え後の水管理

- 田植え後3日程度は、苗が水没しない程度のやや深水にして、植傷みを防ぎましょう。また、低温や強風時もやや深水にして、苗を保護してください。
- 活着後は、朝または夕方に入水、日中は止水とし、浅水管理で初期分げつの発生を促しましょう。

6 水田の雑草防除

- ・ 農薬は使用基準を守って使用する。
- ・ 栽培履歴は必ず記帳しましょう！

【効果的な除草剤の使い方】

- 代かきから田植えまでの期間は3～4日程度（長くしすぎない）。
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止対策を行い、除草効果を持続させるようにする。
- 除草剤の散布は遅れず、計画的に行う。
- 田面が露出しないよう、5cm程度の深水状態で散布する。
- 除草剤散布後7日間は止水とし、落水やかけ流しはしない。

【除草剤の散布体系】（初期剤との体系防除）

